

濟州島江汀村に平和を！

第3回9条アジア宗教者会議参加者は、宗教の垣根を越えて、平和を愛するさまざまな国々の宗教団体と共に東洋の平和と安全の為に祈りを捧げてきました。濟州島江汀（カンジョン）村の海軍基地建設問題は日々深刻になってきています。よって私たちは、江汀村の平和を求めて祈りつつ、以下を宣言します。

濟州島は、その手つかずの自然と美しい風景が評価され、UNESCOによって環境保全地域、世界遺産、そして世界ジオパークに認定されています。特に政府が海軍基地を建設しようとしている江汀村は、希少な珊瑚礁や玄武岩がみられるため、絶対保護が求められる環境保全地域とされています。

私たち宗教者は、美しく平和な濟州島が、広大な海軍軍事施設を置く東アジアの前進基地となり、近隣アジア諸国との緊張を高めることに大きな懸念を抱いています。真の平和は軍事力ではなく協力と対話によりもたらされるものです。濟州島における海軍基地の建設が北東アジアの平和と安定に寄与するとはとても思えません。

私たちはまた政府の意思決定の過程における非民主的手法に注目しています。平和な生活と土地を守ろうとする江汀村村民の必死の訴えは完全に無視され、彼らの訴えを抑圧するために暴力的かつ違法な手段が用いられています。民衆により政府に委ねられた権力は必ず民主的法的手続きに則って行使されなければなりませんし、政府が暴力的な手法へ頼ることは決して許されません。私たちは、政府が、非暴力的手段により自らの土地を守ろうと奮闘している江汀村の人々と、誠意ある対話を始めることを要求します。

私たちは海軍基地の建設の即時中止と江汀村の平和の回復に向けて、祈り、そして行動します。

私たちは韓国政府に以下の3点を要求します。

- 海軍基地の建設を直ちに中止してください。
- 拘束中の江汀村の村民と平和活動家を直ちに釈放してください。
- 江汀村の村民との対話を再開してください。

2011年10月7日

第3回9条アジア宗教者会議参加者一同